

令和元年度 学校版環境 ISOへの取組 概要報告

氷川町及び八代市中学校組合立氷川中学校

1 取組の概要

(1) 氷川中学校環境版 ISO の宣言項目

宣言	<p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○節電・節水・節紙を心がけます。 ○ペットボトルキャップを回収し、リサイクルします。 ○学校の美化に努めます。 ○晴れた日の昼休みは校内全面消灯をし、電気使用量を削減します。 ○掃除の時はバケツを利用し、節水します。 ○地域のごみ分別収集に参加し、燃えるゴミの削減に努めます。 ○学校から出た資源ゴミは、再利用出来るように分別をします。そのために、生徒たちに3Rの意識を定着させます。
	<p>【職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○節電・節水・節紙を心がけます。 ○ペットボトルキャップを回収し、リサイクルします。 ○学校の美化に努めます。 ○地域・家庭への呼びかけを行います。 ○両面印刷や裏面の再利用で紙の消費量を減らします。 ○紙の処分は溶解処理を利用してゴミを減量します。 ○夏休み中のエアコンを27度に設定し電気料を節約します。

(2) 行動と記録

①節電・節水・節紙

ポスターの掲示や呼びかけを行い、節電・節水を心がけた。清掃中の消灯や、清掃で使用する水はバケツに貯めた一定量の水を繰り返し使うなど、具体的にも節電・節水を意識させている。職員室内には再利用紙 BOX を設置し、職員に配付する印刷物は再利用紙を利用するなどして節紙も心がけている。また、授業中のドリル学習や参照資料を提示する際に ICT 機器を利用することが節紙にもつながっている。さらに、職員会議などの資料はデータ化し、パソコンの共有フォルダに入れて閲覧できるようにすることで、紙の消費量を減らすような工夫も行っている。



再利用紙 BOX



生徒が描いた ISO ポスター



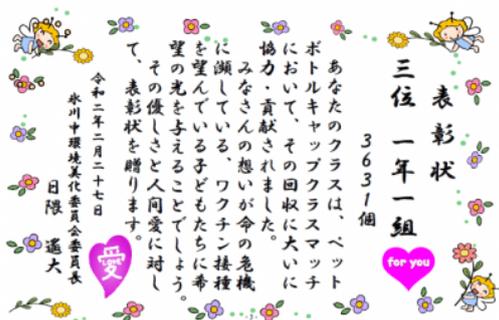
②ペットボトルキャップ回収

ペットボトルキャップは、毎週火曜日を回収日とし、生徒昇降口にエコキャップBOXを設置している。また、夏期休業中には愛校作業を実施し学校美化に努め、併せてペットボトルキャップの回収も行った。さらに環境リサイクルクラスマッチと題し、ペットボトルキャップ回収強化週間を生徒たち自らが設定し、リサイクル活動を充実させることで環境保全の意識を高めている。ペットボトルキャップに関しては、より多く回収することで交換できるポリオワクチンの数も増やすことができ、1人でも多くの命を救うことにつながるという説明を行い、ペットボトルキャップを回収することの意義や目的を明確に示すことで、ボランティア精神を養うことにもつながっている。

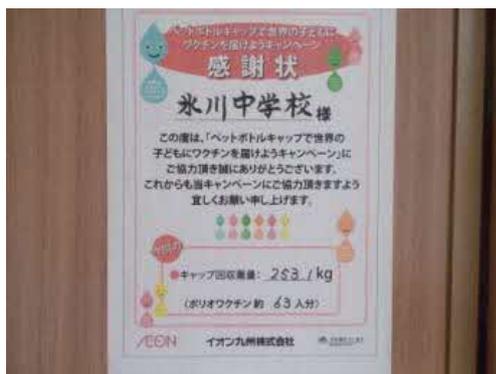


環境リサイクルクラスマッチによって回収したペットボトルキャップ。
回収したペットボトルキャップは今年の3月にリサイクルに出す予定。

環境美化委員会によるペットボトルキャップ回収時のエコキャップBOX。
ボランティアの意識も高めています。



環境リサイクルクラスマッチの賞状
環境美化委員長考案。

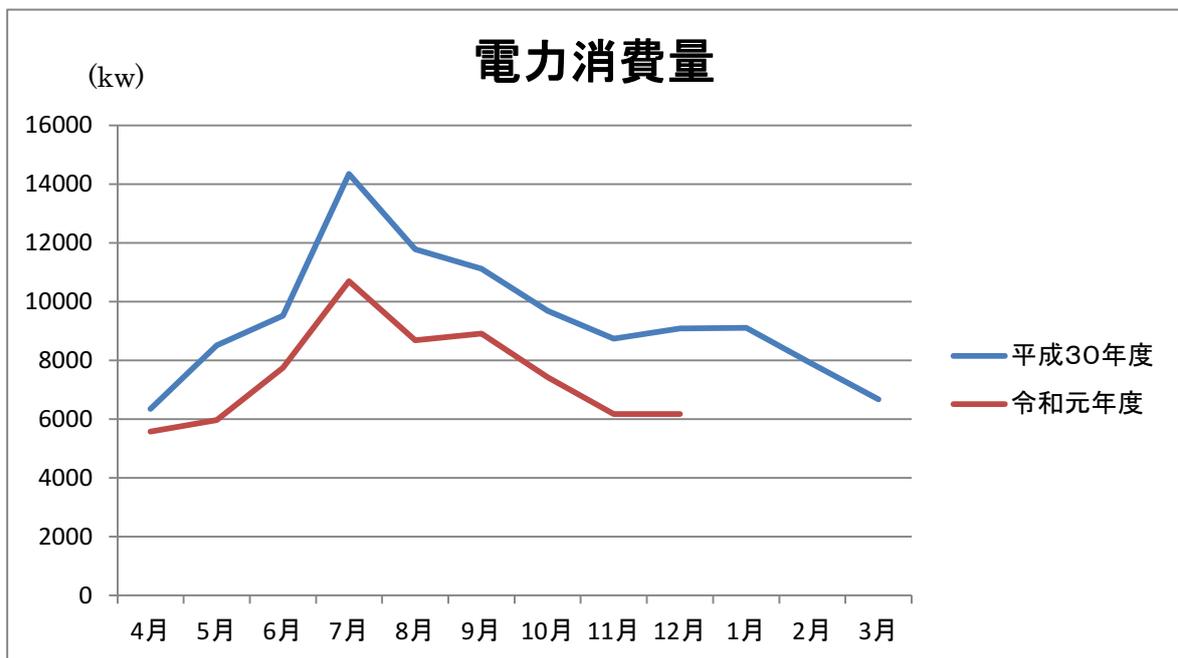


ペットボトルキャップをリサイクルに出した際にいただいた昨年の感謝状です。
今年は3月にリサイクルに出す予定です。生徒の意識も向上しています。

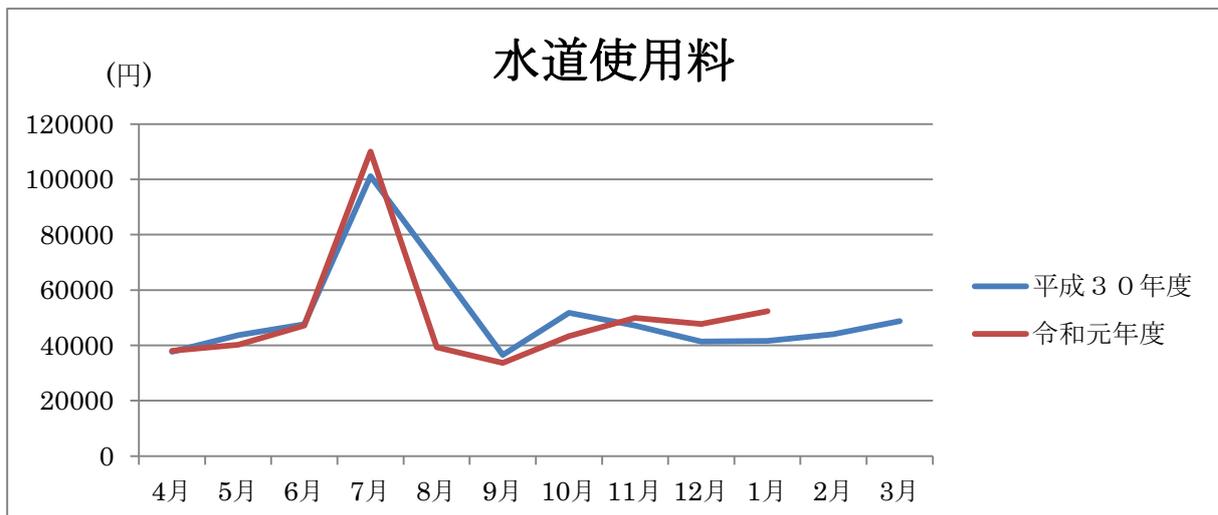
③集会での考察

電気・水道の使用料には以下のような結果が見られた。電気に関しては、今年の11月から基本料金が安くなっているため、電力消費量での比較を行った。電力消費量は昨年度の消費量より削減することができた。生徒や職員が、節電に努めた行動を意識して行っているということが分かった。水道に関しては、8月は昨年度と比較して大きく減少しているが、11月以降は連続して増加している。このことから、電気に関しては、使用量の減少に向けて今後も継続した声かけ等の取組を行い、水道に関しては、今まで以上に声かけやその他の取組を強化し、継続して使用料を減少できるようにしていくことが必要である。

電力消費量	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度	6348	8508	9522	14346	11784	11118	9684	8736	9084	9108	7878	6672
令和元年度	5580	5964	7752	10692	8682	8910	7422	6174	6174			
差額(kw)	768	2544	1770	3654	3102	2208	2262	2562	2910	9108	7878	6672



水道使用料	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度	37650	43740	47650	101210	68980	36580	51750	47110	41440	41570	44000	48730
令和元年度	38070	40230	47110	110020	39280	33600	43330	49900	47710	52380		
差額(円)	-420	3510	540	-8810	29700	2980	8420	-2790	-6270	-10810	44000	48730



2 成果と課題

- 地域の方々と協力して行った夏期休業中の愛校作業や、委員会活動でのペットボトルキャップ回収など、リサイクル活動ができ、環境保全への意識の向上が図られた。
- 節電・節水に関してはポスターの掲示をするなど工夫したものの、月によっては昨年よりも使用量が増加したため、今年度の結果を校内に掲示させたり、毎月の使用料を校内放送して意識化させたりすることで、節電・節水を促す等の工夫が必要である。
- 節紙については、呼びかけや張り紙での注意喚起は行ったものの、具体的な使用量やどの程度節紙につながったのかどうかを具体的に把握できなかったため、工夫が必要である。
- 全体を通して学校での取組は少しずつ充実してきたが、家庭との連携がほとんどできていない。そのため、「家庭版ISO」というような形で、各家庭でも学校と連携して環境保全に関する取組が行えるような計画を立てる必要がある。